



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年7月31日

上場会社名 大正製薬ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4581 URL <http://www.taisho-holdings.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 上原 明
 問合せ先責任者 (役職名) 広報室長 (氏名) 坪井 正樹 (TEL) 03-3985-2020
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	67,773	—	9,807	—	12,171	—	7,591	—
24年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 7,449百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年3月期第1四半期	94	44	—	—
24年3月期第1四半期	—	—	—	—

(注) 当社は、平成23年10月3日に単独株式移転により設立されたため、前年同四半期実績はありません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	
25年3月期第1四半期	630,578	541,820	541,820	541,820	84.1	
24年3月期	629,506	538,666	538,666	538,666	83.8	

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 530,451百万円 24年3月期 527,376百万円

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
24年3月期	—	—	—	—	—	—	50	00	50	00
25年3月期	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	60	00	—	—	60	00	120	00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注2) 当社は、平成23年10月3日に単独株式移転により設立されたため、前年第2四半期までの実績はありません。

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期（累計）	139,000	—	17,000	—	20,000	—	13,500	—	167	20
通期	285,000	5.1	37,500	△2.4	44,500	△3.7	29,000	19.1	358	37

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

(注2) 当社は、平成23年10月3日に単独株式移転により設立されたため、第2四半期連結累計期間の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 有
- ④ 修正再表示： 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期1Q	90,139,653株	24年3月期	90,139,653株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	9,756,859株	24年3月期	9,755,007株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期1Q	80,383,284株	24年3月期1Q	－株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(5) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、平成23年10月3日に単独株式移転により大正製薬株式会社の完全親会社として設立されておりますが、連結の範囲に実質的な変更はないため、前年同四半期と比較を行っている項目については大正製薬株式会社の平成24年3月期第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）と比較しております。

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

セルフメディケーション事業分野の中心であるOTC医薬品市場は、解熱鎮痛剤、鎮咳去痰剤、水虫治療薬など一部好調なカテゴリーがあったものの、ドリンク剤・ミニドリンク剤・皮膚用薬・総合感冒薬といった主力カテゴリーの不調に加えて、花粉飛散量減少により鼻炎治療剤などの花粉症関連カテゴリーが前年比マイナスとなるなど、低調裡に推移しました。

医薬事業分野につきましても、新薬の創出が困難になりつつあるなか、世界的な承認審査の厳格化や医療費適正化諸施策の浸透などにより、厳しい事業環境が続いております。

こうした事業環境の中で、当社グループのセルフメディケーション事業部門は、生活習慣病などの成長領域に積極的に取り組み、情報提供と店頭販促をより一層強化するなど、国内OTC医薬品市場の活性化に努めております。また、海外市場においては、アジア地域を中心にドリンク剤事業に加えてOTC医薬品事業を積極的に展開し、事業基盤の強化に取り組んでおります。

医薬事業部門では、情報提供活動を中心とする営業力の強化を図るとともに、自社オリジナル開発物質の継続的な創出と開発研究のスピードアップに努めております。

このような事業活動により、当第1四半期連結累計期間のグループ全体売上高は、677億7千3百万円余（前年同四半期比+35億7百万円余、5.5%増—以下括弧内文言「前年同四半期比」省略）となりました。

セグメント別の売上高は次の通りであります。

セルフメディケーション事業	414億円	(+ 15億円)	3.9%増
内訳			
一般用医薬品等	364億円	(+ 3億円)	0.8%増
特保・食品等	44 "	(+ 11 "	34.2%増
その他	6 "	(+ 2 "	34.4%増
医薬事業	264億円	(+ 20億円)	8.1%増
内訳			
医療用医薬品	246億円	(+ 24億円)	11.0%増
中間製品等	17 "	(△ 5 "	22.1%減
工業所有権等使用料収益	0 "	(+ 0 "	2.2%増

両事業部門主要製品の売り上げ状況は次の通りであります。

<セルフメディケーション事業>

当第1四半期連結累計期間売上高は、414億円（+15億円、3.9%増）となりました。

ドリンク剤の「リポビタンシリーズ」は、生活者の低カロリー志向に対応した「リポビタンP」や高価格帯の「リポビタンDスーパー」などが伸長したものの、主力の「リポビタンD」が前年を下回り（5.6%減）、シリーズ全体では、176億円（3.0%減）となりました。

風邪薬「パブロンシリーズ」は、前年の花粉飛散量増加の反動から、鼻炎関連商品が前年比マイナスとなりましたが、主力の総合感冒薬は堅調に推移し、シリーズ全体では48億円（2.1%増）となりました。

発毛剤「リアップシリーズ」は、平成23年11月発売の女性用「リアップリジェンヌ」が寄与したものの、主力の「リアップX5」、「リアップ」が前年比でマイナスとなり、シリーズ全体で33億円(8.0%減)となりました。

その他のブランドでは、「コーラックシリーズ」は9億円(2.6%減)、ミニドリンク剤の「ゼナシリーズ」は7億円(3.3%減)と前年を下回りましたが、「ナロンシリーズ」は10億円(11.7%増)、「胃腸薬シリーズ」は平成24年2月発売の「大正漢方胃腸薬「爽和」」の寄与もあり10億円(11.4%増)と前年を上回りました。

特保・食品等の「リビタシリーズ」は、主力の粉末シリーズが引き続き好調で13億円(38.0%増)となりました。

一方、現在注力中の海外OTC医薬品事業では、タイ、インドネシア市場を中心に順調に売り上げを伸ばしたほか、平成23年8月に買収したマレーシアのホウ製薬も寄与し、20億円(56.1%増)となりました。

<医薬事業>

当第1四半期連結累計期間売上高は、264億円(+20億円、8.1%増)となりました。

4月に実施された薬価改定の影響もあり、主力品のマクロライド系抗菌薬「クラリス」は43億円(9.1%減)、末梢循環改善薬「パルクス」は23億円(2.6%減)と前年比マイナスとなりましたが、β-ラクタマーゼ阻害剤配合ペニシリン系抗菌薬「ゾシン」は51億円(30.3%増)、ニューキノロン系抗菌薬「オゼックス」は19億円(70.1%増)、キノロン系抗菌薬「ジェニナック」は9億円(6.1%増)と好調に推移しました。また、平成23年4月に発売した骨粗鬆症治療剤「エディロール」は16億円(176.0%増)と順調に伸長しました。

その他の製品では、非ステロイド性消炎鎮痛剤「ロルカム」は8億円(1.1%減)、注射用ペニシリン系抗菌薬「ペントシリン」は6億円(20.4%減)、セフェム系抗菌薬「トミロン」は5億円(5.5%減)と前年比マイナスとなりました。

また、中間製品等の売上高は17億円(22.1%減)となりました。

コスト面につきましては、広告宣伝費、販売促進費、研究開発費等の増加により、販売費及び一般管理費が前年よりも増加し、営業利益は98億7百万円余(9.6%減)となりましたが、持分法投資損益の改善などにより経常利益は121億7千1百万円余(3.1%減)、四半期純利益は75億9千1百万円余(5.7%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ11億円増加し、6,306億円となりました。投資有価証券が67億円減少したものの、現金及び預金が55億円、たな卸資産が合計で11億円、有形固定資産が合計で14億円増加しました。

負債は前連結会計年度末に比べ21億円減少し、888億円となりました。未払費用は62億円増加しましたが、未払金21億円、未払法人税等29億円、賞与引当金30億円が減少となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ32億円増加し、5,418億円となりました。四半期純利益76億円、為替換算調整勘定23億円が主な増加要因であり、剰余金の配当40億円、その他有価証券評価差額金27億円が主な減少要因でした。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

医薬事業の第1四半期販売状況に加え、当年7月に株式会社トクホンとメキシコのCICSA社等4社が新たに連結対象となったことをふまえ、平成24年5月11日に公表しました連結業績予想を以下のとおり修正いたします。

ー売上高

医薬事業で骨粗鬆症治療剤「エディロール」等の売上げが当初予想を上回る見込みとなったこと、株式会社トクホンについて第2四半期（累計）に3ヶ月分、通期に9ヶ月分の、メキシコのCICSA社等4社について通期に6ヶ月分の連結寄与があることなどから、第2四半期（累計）、通期ともに上方修正いたします。

ー利益面

売上高の上方修正影響により、営業利益、経常利益、当期純利益の予想を、第2四半期（累計）、通期ともに上方修正いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	94,672	100,202
受取手形及び売掛金	78,662	79,311
有価証券	19,055	18,603
商品及び製品	13,247	14,278
仕掛品	2,695	2,429
原材料及び貯蔵品	8,855	9,163
繰延税金資産	8,567	7,524
その他	9,195	10,089
貸倒引当金	△169	△181
流動資産合計	234,782	241,420
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	42,806	42,161
機械装置及び運搬具（純額）	6,539	6,754
土地	35,346	35,344
建設仮勘定	5,103	6,522
その他（純額）	3,041	3,431
有形固定資産合計	92,837	94,214
無形固定資産		
のれん	17,731	17,936
販売権	8,883	8,587
商標権	9,230	9,196
ソフトウェア	2,580	2,290
その他	442	452
無形固定資産合計	38,868	38,462
投資その他の資産		
投資有価証券	198,137	191,420
関係会社株式	47,145	47,437
長期前払費用	993	1,012
繰延税金資産	9,163	8,614
その他	7,707	8,126
貸倒引当金	△128	△129
投資その他の資産合計	263,018	256,481
固定資産合計	394,724	389,157
資産合計	629,506	630,578

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,986	29,397
未払金	12,286	10,188
未払法人税等	5,726	2,840
未払費用	8,837	15,084
返品調整引当金	471	525
賞与引当金	4,630	1,616
その他	2,367	1,844
流動負債合計	63,306	61,497
固定負債		
退職給付引当金	17,589	17,667
役員退職慰労引当金	1,536	1,555
繰延税金負債	4,455	3,560
その他	3,951	4,476
固定負債合計	27,532	27,260
負債合計	90,839	88,758
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,000	30,000
資本剰余金	15,000	15,000
利益剰余金	550,605	554,174
自己株式	△61,896	△61,908
株主資本合計	533,708	537,265
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,748	2,047
繰延ヘッジ損益	—	△40
為替換算調整勘定	△11,080	△8,821
その他の包括利益累計額合計	△6,331	△6,814
少数株主持分	11,289	11,368
純資産合計	538,666	541,820
負債純資産合計	629,506	630,578

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	67,773
売上原価	25,159
売上総利益	42,613
返品調整引当金戻入額	458
返品調整引当金繰入額	511
差引売上総利益	42,560
販売費及び一般管理費	32,752
営業利益	9,807
営業外収益	
受取利息	1,328
受取配当金	555
持分法による投資利益	480
その他	131
営業外収益合計	2,496
営業外費用	
支払利息	5
為替差損	99
その他	28
営業外費用合計	132
経常利益	12,171
特別利益	
固定資産売却益	188
特別利益合計	188
特別損失	
固定資産処分損	73
特別退職金	66
特別損失合計	140
税金等調整前四半期純利益	12,218
法人税等	4,284
少数株主損益調整前四半期純利益	7,933
少数株主利益	342
四半期純利益	7,591

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	7,933
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△2,643
繰延ヘッジ損益	△40
為替換算調整勘定	2,267
持分法適用会社に対する持分相当額	△68
その他の包括利益合計	△484
四半期包括利益	7,449
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	7,109
少数株主に係る四半期包括利益	340

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計
	セルフメディ ケーション事業	医薬事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	41,394	26,379	67,773	—	67,773
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	41,394	26,379	67,773	—	67,773
セグメント利益(注2)	8,737	1,310	10,047	△239	9,807

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない当社(純粹持株会社)であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益はありません。